

2021年6月24日

静岡鉄道株式会社 担当者様

清水鉄道遺産保存会

青木 渉

静岡市清水区向田町 12-30

TEL 080-2621-6685

MAIL shimizu_tetudouisan@yahoo.co.jp

中之条町譲渡後のトコ1の整備に関するお知らせ

拝啓

時下、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

このたび、御社から発表がありました無蓋貨車トコ1の中之条町譲渡に関しまして、事前に同町のアドバイザーより情報があり、発表に先立ち現地搬入後の車両整備を当保存会で実施する許可をいただきましたので、整備内容と合わせてお知らせします。

敬具

記

1. 車両整備の方向に関して

トコ1の譲渡先である中之条町の太子駅は日本一の「無蓋車」公園を目指しており、既に複数の車両が搬入されている状態です。現在のトコ1はプレスリリースに書かれているように保線作業などで碎石輸送用に使用されていた姿で、貨物を運んでいたほかの貨車群と違いがあります。

清水鉄道遺産保存会では静岡鉄道の過去の資料・写真の収集を積極的に行っており、書物やほかの資料でほとんど出てないと思われる、貨物輸送を行っていた時代のトコ1形(当時はトコ20形)の鮮明な写真(昭和11年撮影)も所蔵しております。

この資料を基に、昭和4年の製造から静岡鉄道生え抜きの車両として活躍し、静岡のお茶を清水港へ運ぶ路線など当保存会が所有する65号と同じく当時の静岡・清水地区全路線を走った可能性のあるトコ1を貨車として活躍してきた時代設定での整備を予定しています。

そのほか、所蔵写真で昭和28年、昭和39年、昭和42年など複数の年代の同形式の資料があり、これを元に、貨車として活躍していた戦前の設定だけでなく、定期整備に合わせて各時代の表記などを見てもらえる形にしていきたいと考えております。

表記関係の作成や貨物輸送時代に取り付けられていて、現状失われている部材などの製作も行う予定です。当会から提供することで長沼車庫に残るデワ1やト2も時代設定を変えての展示が可能になるため、静岡鉄道の歴史を語る車両の価値を見出せればと思っております。

2. 現地整備計画に関して

7月の長沼工場でのイベント後、搬出と考えており、7月末～8月中の土日で約1.5日の整備日程で車体の錆止めと再塗装、昭和11年の設定での表記の復元を予定しています。

搬入後の初回整備だけでなく1年に1回など不規則な形で継続的な整備を予定しています。

以上



▲写真1 昭和11年 清水波止場駅周辺(推定)で撮影されたト22(保存会所蔵)
 貨車としての表記があり、当時の静岡電気鉄道の社紋がわかるほか、当時から車番表示は「トコ」ではなく「ト」だった事がわかる。ト22は後にト3となったが現存しない。「コ」は当時他の貨車が木造車であったため、鋼製車の「コ」ではないかと推察。



▲写真2 昭和11年 鷹匠町の貨物側線へ入るデ12+トコ+有蓋車(保存会所蔵)
 当時貨物列車として運行されていたことがわかる写真。
 現状のデワとトは貨物関係の車票差しなどが撤去されている。